



校訓
「明るく 清く たくましく」

平成30年5月30日発行



PTA球技大会に向け
がんばっています

自主勉強に取り組もう

低学年の宿題は、「音読と計算ドリル」などと、学力の定着と共に学習習慣の定着のために指定された課題が多いです。しかし高学年になると個人にあった学習が必要です。決められた宿題に加えて、自主勉強が加わります。ここでいう「自主」とは「自分で考えて学習に取り組む」ことを指し、やってもやらなくてもいい勉強ではありません。こうした取組を日々の学習の中に習慣づけるために、学年ごとに「1日2ページ」などノルマを決めて課題にしています。自主勉強では、「自分の苦手なことの復習」「これから習うことの予習」「興味をもったことを調べる」などと、自分に合った勉強をすることが大事です。また、丁寧に取り組むと効果が倍増します。

しかし、自主勉強は自由度が高い宿題である分、取り組む姿勢によって成果に差が生まれます。6年生は自主勉強コンテストと題して、階段の踊り場に「自主勉強の参考に」とノートのコピーを貼りだしています。ハローアメリカの時にご覧になった方も多いのではないのでしょうか。またこの間は、「どんな自主勉強ノートにしたらいい？」と自主勉強のポイントについて意見を出し合いました。

- 日付を書く。
- 時間を書く。

※ 何から調べたか書くのもよい。

(インターネット、本、資料など)

- すき間をあけない。(必要以上に間をあけない。)

※見やすくするのは別。

- 丁寧に書く。(見やすく) / 見てもらう最低限のマナー。
- めあてとまとめ・振り返りを書く。 / まとめ・振り返りは内容に応じて選択。
- ◇ 復習をする。
- ◇ 調べたいこと(予習)をする。 / 自分の興味あることを。
- ◇ いろいろな教科をする。

さすがは6年生。前向きな意見が次々と上がります。6年生では自主勉強の定着が感じられます。しかし、「できている人」の問いかけに手の挙がらない人も見られます。話し合いの結果、



○の5項目を「誰でもどんな課題にでもできること」として必ずする。

◇の3項目は自分に合った学習になるよう意識する。

今後みんなで取り組むことにしたようです。これらは6年生に限らず学習の大事なポイントです。ぜひ、ご家庭でも参考にいただければと思います。

いよいよプールが始まります

○プール掃除がんばりました

子どもたちが待ちに待った水泳学習が始まります。6/8(金)のプール開きは、場所の関係で1・3・6年生が代表で参加します。5/28(月)には、4・5・6年生で1年間たまったプール内のゴミや汚れの掃除と、周りに伸びた雑草の刈り取りをしました。茶色のヘドロをデッキブラシでこすり取る作業は気持ち悪かったと思います。また、プールサードの草抜きや草の袋詰めやも、予想以上の量ととげとげの草で大変だったと思います。そんな状態にもめげない子どもたち。泥だらけになっても途中水がかかっても、きれいになっていくプールにやる気は衰えません。休憩をはさんでおよそ2時間の作業でしたが、時間を気にせず一生懸命取り組んでいました。おかげで、プールはいつ水を入れてもいい状態で、プールサイドもきれいにスッキリしました。この夏も事故なく水と親しむ楽しい水泳学習ができればと思っています。またご家庭では、

- ・ 体調の管理(無理な参加にならないように)
- ・ 衛生管理(耳あか、つめなど)
- ・ 頭髪(スイミングキャップに髪が入るように)
- ・ ゴーグルの準備
- ・ 持ち物の管理

などについて、お子様と確認していただけたらと思います。そして例年困るのが、落とし物です。持ち物に名前があれば返すことができるのですが、無記名のものもあり、返すことができないものがでてきます。ビーチサンダルなどペアになるものには、両方に記名をお願いします。今年からラッシュガードの着用が可になりましたが、以前お知らせしたように、華美なもの(キャラクター付きなど)なもの、水を汚す可能性のあるもの(ラメなど)、泳ぎや安全性に不安のあるもの(フードやフリルのついているものなど)は着用できません。ご注意ください。



また、プールは小雨なら入ることがありますが、「水温」「雷」「オキシダント注意報」などで中止にすることがあります。その際は、体育館等を使っての通常の体育になります。荷物になりますが、これまで通り体操服を持たせてください。ご協力をよろしくお願いいたします。



ハローアメリカ 6年生の作文より

学生さんにとって一度の体験

「ではみなさん、体育館へ移動をお願いします。」先生はこう言った。私の頭の中には、楽しみな気持ちと心配な気持ちが半分ずつ。「おいしくできるかな?」「間違えずにできるかな?」、ずっとネガティブな気持ちが頭の中をグルグル駆け巡った。

心の準備ができていないまま本番。でも学生さんは、わくわくな顔で待っている。結局、私はおばあさんの集まりの担当になったけど、学生さんの気持ちに負けないようにお茶の準備を始めた。

まず、お茶碗に抹茶を入れる。最後の練習では多すぎて、あまりよくなかった。そこに気をつけて入れて、お茶を点てた。みんなは泡になっているのに、私のは少しだけの泡。でも味がよければ全てよし。そう心の中でつぶやいた。

お客さんは、お茶を飲み「おいしかったよ。上手ね。」と言って誉めてくれた。練習の時に自分で飲んだお茶は厳しかったけど、そう言われて本当にうれしかった。本番に成功できてよかった。

ハローアメリカ茶道

オレががんばったことは茶道です。外国の方に入れるので「おいしいお茶をた点てないとな〜」と思いながらお茶を点てました。外国の方が食べていた和菓子(※1)がめっちゃおいしそうに見えました。「オレたちにも、練習の時にこんなまんじゅうくれよ」と思いました。



お茶を入れているときに、初めて足にしびれが来ました。しかも前の外国の方は正座をしていない。「えーなあ」とずーっと思っていました。でも、お茶を点てるのは、いつもよりずーっっと短く感じました。もうちょっと茶道をしておきたかったです。もうハローアメリカに参加することはないので、一生の思い出にしたいと思いました。

※1 お茶を教えてくださいました先生の手作りです。

最後のハイタッチ

「まだかな？」 「もうすぐかな？」

私は今、フェニックスの前で、学生さんたちを待っている。私が見ているところは、児童玄関のところだ。少しみんながざわついた。その時私は「もう来たの!？」と靴箱を見すえた。みんな真ん中によって行った。私も同じようによって行った。すかさ



ず手のひらを出した。視線の先に学生さんの姿が私の目に映った。「ついに来た!」私ほうれしかった。なぜなら、最初に学生さんが体育館に入ってきたとき、学生さんと距離が遠く、ハイタッチができなかったからだ。「今度こそできる!!」と思い、私は笑顔になった。「もうすぐそこまで来た。」 「もう数秒でくる。」私ほもっと手のひらを前に出した。私の番が来た。どんどん来た。続々と連続で来た。学生さん全員が私にハイタッチしてくれた。最後にスタッフ教授が来た。毎年あごを上下に早く動かしてくれる。私は待った。でもしてくれなかった。少し残念だったけど、ハイタッチはできうれしかった。

最後の最後に、「ウォー」とかけ声をかけながら手をあげるセレモニーをみんなでした。それもうれしかった。でも、小学校、いやもしかすると学生さんやスタッフ教授と会えるのは今日で最後かもしれない。そう思うと急にさみしくなった。こうしてあっという間に、ハローアメリカが終わった。



学校菜園がきれいになりました。

気温の上昇に合わせてるように、成長する野菜たち。周りの草も負けずにぐんぐん成長し、草ボウボウ状態に。先週末、野菜名人さんがきれいにかってくださいました。

たまねぎも収穫間近。菜園は収穫に喜び子どもたちの笑顔で一杯になりそうです。